

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【川通小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・国語「書くこと」に課題が見られるため、基本的な文法の習熟や、短文づくりなどを朝の時間をつかって実施していく。 ・算数「数と計算」に課題が見られるため、自分の課題にあった問題を選んで継続的に取り組んでいけるようにする。 ・授業改善 学んだことを他の教科や次の学習に活かせるように、教科横断的な学習の取組みを一層推進する。 ・家庭学習の充実 各学年の発達段階に応じて、自主的に学習を進められるように、研修で取り組み方の参考資料を作成する。 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は相手の思いを意識して表現したり、得られた情報や学んだ知識を生活や他の教科に生かしたりすることが課題である。自分の考えを明確にして表現できるようにするために、ペアやグループで活動を行い、アドバイスしあうなどの協働的な学びの活動を引き続き行っていく。また、資料から読み取ったことや知っていることを、根拠をもって説明できるように、考えや説明の視点を示したり、他者参照をして考えを比較したりする取組を意図的、計画的、継続的に行っていく。主体的に学習を進められるように探求のプロセスを意識した授業改善を校内研修等とおして積極的に行っていく。 	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ＜学習上の課題＞ 国語「言語の特徴や使いに関する事項」 算数「数と計算」 ＜指導上の課題＞ 学習事項の定着に十分な時間を確保できていない。個に応じた指導を充実させていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の活動時間に学校全体で基礎学力向上を目的とした「パワーアップタイム(仮称)」として、ドリルやワークなどに取り組む時間を設定していく。【年間40回程度】 児童の学習意欲や基礎学力の定着を目的とした家庭学習環境を充実させる。【年間】 課題を自分で決めて、目標に向かって主体的に取り組む学習活動を充実させるために授業実践をして改善を図る。【月に一度】
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ＜学習上の課題＞ 国語「書くこと」 算数「図形」 学習活動が多岐にわたるため、話し合いや振り返りなど、自分の考えをまとめる時間を十分に確保できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用して、わかったことや考えたことを共有しやすくする。ペアやグループ活動において、自分の考えを根拠をもって表現できるように、話し合いの視点を示す。また、他者と自分の考えを比較し、共に協力して答えを導き出す協働的な学びを図る。【各教科各単元】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能	B	<ul style="list-style-type: none"> ・朝時間に基礎学力向上の取組をし、単元末に習熟の時間を積極的に設けたりした。さいたま市学習状況調査の結果から習った漢字を分の中で正しく使う力が少しずつついてきている。一方で文法の基本をつかた正しい叙述の仕方について課題が見られる。算数では、数字に慣れることで、簡単な問題から抵抗なく、粘り強く取り組む姿勢がより見られるようになってきた。さいたま市学習状況調査の結果から市平均を下回る項目が多く、計算では除法を中心に、基本的な計算の習熟を一層固める必要がある。 ・本校独自の学習に関する児童アンケートでは、「考えを書いて伝えられる」「学習した計算ができる」の項目で肯定的な回答をする児童が徐々に増えてきた。
思考・判断・表現	B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業において、自分の考えをクラウド上に記入して、友達と比べる機会を増やした。また、ルーブリックを活用して学んだことを振り返りクラウド上に記録しておくことで、学びの変容を自分で確かめられるようにした。さいたま市学習状況調査の結果から、文や資料を読み取り、自分の考えや伝えたいことを明確にして言葉や文にして表現することに課題がみられた。

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・国語では、ほぼどの項目においても、全国の平均正答率を上回っている。語句の表し方を理解して活用する力がついてきている。一方で漢字を文の中で正しく扱えるようになってきていることが課題である。 ・算数では、平均正答率は昨年度と比べると全国平均に近いが、依然として下回る項目が多く、特に分数や割合についての基本的な概念の理解が課題である。 ・理科では、全国の平均正答率かそれを上回る項目もある。電流や流れる水ののたつきでは比較的知识が身に付いている。一方で理解が進んでいない事象もあり、特に磁石と金属の関係や顕微鏡の扱い方について課題が見られた。 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・国語では、相手の話の内容を捉えて自分の考えの書き表し方を工夫する趣旨の設問の正答率が高い。一方で、正答率が低い設問から、目的に応じて必要な情報や材料を分類して伝えることや、文章全体を捉えて趣旨を把握することに課題が見られる。 ・算数では、平均正答率が全国平均を上回るものも多く、昨年度より改善傾向が伺える。特に、併せて変わる二つの量の関係を見いだすことができてきている。一方で、「単位分数のいくつ分」「もとの何倍」などを表したり説明したりすることに課題が見られた。 ・理科では、平均正答率が全国の平均かそれを下回る項目がある。根拠をもとに結果を予想し表現することは比較できていた。一方で結果から結論を導き出したり、差異点や共通点を基に新たな問題を見いだして表現したりすることに課題が見られた。 	

①結果分析(管理職・学年主任等)

②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・国語では、学年が上がるにつれて漢字を文の中で正しく使うことができるようになってきているが、文法の基本となる主語、述語、修飾語の関係を使った正しい叙述の仕方に課題が見られた。 ・算数では、正答率はどの学年も60%を上回っているが、市平均正答率と比べると下回っているものがあり、数の概念などの基本的な事柄の理解を深めていく必要があると考える。 ・社会では、地理的な内容についての正答率が比較的高かった。一方で地図やグラフなどの資料から適切に読み取ることに課題が見られた。 ・理科では、「生命」を柱とする領域で比較的正答率が高かった。電気や磁石などの「エネルギー」を柱とする領域の理解に課題があり、事象によって正答率に差があるため、興味関心から理解に関連していると考えられる。 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・国語では、目的に応じて必要な情報を見付ける「読むこと」に関して比較的正答率が高かった。一方で相手に伝えるように自分の考えを明確にして文にする「書くこと」に関して、どの学年も市の平均正答率を下回り課題が見られた。 ・算数では、図形の問題を活性化して角度や面積などを求めることが比較的よくできていた。一方で学んだ知識等を使って適切に判断することや、データを表にまとめた後、グラフを正しく読み取ったりする力に課題が見られた。 ・社会では、事象ごとに正答率に差が見られ、資料から読み取れたことからどんなことを考えるかを考え、表すことに課題が見られた。 ・理科では、「エネルギー」を柱とする領域を中心に、実験結果などからわかることを考え導き出すことに課題が見られる。目に見えない事象を実験・観察を通して数値や図などで実感して考えることが大切と考える。 	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で朝時間に基礎学力向上の取組みをしている。国語では書く力を付けるためにドリルを使ったり、算数を広げるためにカルタを活用したりした。算数では意欲が高く、楽しみながら取り組めるようにトランプなどを活用して学年に応じた算数遊びを行っている。 ・児童アンケートや学習状況調査結果を基に、学力に関する課題を共通理解して、授業で児童が目的に応じて学習形態を選択したり、学習後何を学んだのが振り返りする機会を積極的に設けて授業改善を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えたことや学んだことを他教科でも活用できるように、教科横断的な視点に応じて取り入れ、授業改善を図る。【各教科・各単元】
思考・判断・表現	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業において、問題に対する自分の考えや振り返りをクラウド上に記入して、グループでの話し合いをすすめることで積極的に共有して、友達と比べる機会を増やした。 	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)